

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。
(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkouro.com/

建交労 のとうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
全日本建設交通一般労働組合東京都本部
〒135-0048
江東区門前仲町1-20-3
東京建設自労会館7階
電話 03 (3820)8644(代)
fax 03 (3820)8646
編集発行人 松田 隆浩
1部15円組合費に含まれる(〒60円)

5月1日 第93回 中央メーデー・三多摩メーデー開催

5月1日(日)、中央メーデーが代々木公園野外小音楽堂にて例年より規模を縮小し開催され、約2900人(建交労東京参加約300名)が結集しました。三多摩メーデーは井の頭公園西園にて例年と同規模で行われ1500名以上(建交労東京参加27名)が参加しました。中央メーデー、三多摩メーデー共にリアル開催は3年ぶりとなります。

スローガンは「国民のいのちと健康確保へ、コロナ対策予算の拡充を」「ロシアのウクライナ軍事侵略糾弾、直ちに撤退せよ」「ケア労働者をはじめすべての労働者の大幅賃上げ実現」「岸田改憲・大軍拡政権反対 市民と野党共闘の進化で参議院選挙勝利」「8時



開会挨拶をする全労連小畑雅子事務局長

間労働が当たり前、人間らしく生き働くルールの確立」「なくせ貧困と格差 大幅賃上げ・底上げで景気回復 地域活性化」「いますぐ最賃1500円 全国一律最賃法制化の実現」「裁量労働制の適用拡大反対」「ジェンダー平等社会の実現 多様性の尊重」「消費税減税実現 インボイス導入反対と不公平税制の是正」「大企業の内部留保還元 年金・医療・介護など社会保障制度の拡充」「国による被災者の生活と生業を支える復興」「急げ気候変動対策 脱炭素 原発ゼロなどグリーンリカバリーの実現」「軍事費削減 敵基地攻撃能力の保有反対」「憲法9条を守れ STOP!戦争する国づくり」「辺野古の新基地建

設反対」「オスプレイ全国配備撤回 核兵器禁止条約の早期批准を」などです。小畑雅子全労連議長が主催者あいさつを行い、「ロシアのウクライナ侵略について国際世論の力で侵略を止め、国連憲章に基づき平和の国際秩序を回復させよう。憲法を生かした平和な日本をつくるため、幅広い労働者と国民の共闘を呼びかけよう。22春闘で掲げた要求に確信を持ち労働組合への結集を高め、運動をすすめてよう。」と訴えました。



中央メーデー会場 代々木公園野外小音楽堂

集会終了後、中央メーデーは雨の中、青山コースをデモ行進、三多摩メーデーは車両でのデモを行い、それぞれ街行く市民にアピールしました。

【書記長 遠藤 晃】



三多摩メーデー会場 吉祥寺井の頭公園西園

建交労・京王新労組支援共闘会議 高尾山口駅前宣伝 「戦争はいや! 平和がいい!」「ドライバーに適正な休息時間を!」

建交労・京王新労組支援共闘会議は4月23日(土)、京王線高尾山口駅で宣伝行動に取り組み、東京トラック部会の仲間を含め20名が結集し、用意したティンシュ入りビラ1500枚を配りました。当日は晴天で暑くなり、少し動くと汗が出る程の陽気でしたが、駅前は新緑が素晴らしく、早朝から登山客でいっぱいでした。「ようこそ高尾山へ」「気を付けて登山を楽しんできて下さい」と声を掛けながら手渡したティンシュの受け取りが良く、登山を楽しもうという思いや雰囲気壊さず、宣伝出来たように感じます。

善基準告示が2024年4月の改正・施行に向けて議論の真っ只中である事に触れ、最低でも11時間のインターバルの義務化を求めている事などをドライバーの長時間労働の実態を紹介しながら訴えました。
宣伝後、東京トラック部会の仲間と一緒にケーブルカーやリフトで登り、交流会を開催しました。緑豊かな高尾山は、都心を一望出来る眺めも最高でした。参加者からは「またこの会場でやりたいね」との声が上がっていました。現在行われている会社との和解決が解決に向かい、来年は宣伝行動無しで登山を楽しめること願っています。参加された皆さん、ありがとうございます。

【バス関連支部(京王新労組) 執行委員長 佐々木 仁】

ロシアのウクライナ侵略という蛮行を受け「戦争はいや! 平和がいい!」と主張した横断幕を掲げ「戦争を止めさせましょう、ともに声をあげましょう。」と訴えました。また、22春闘が後半戦に入り、労働者の賃上げの必要性について宣伝した他、トラック・バス・タクシードライバーの労働時間を定めた改



京王線高尾山口駅に20名の仲間が駆け付けました!

核兵器の無い世界を目指して 5月6日(金)~7日(土) 2022年原水爆禁止国民平和進行

5月6日(金)~7日(土)「2022年原水爆禁止国民平和進行東京〜広島」が東京で行なわれ、出発集会が開催された江東区夢の島第五福竜丸展示会前には300人が集い、2日間合わせて中央本部7人、東京都本部6人合計13人が参加しました。核兵器のない平和で公正な世界の実現を目指し「NOWA R・NONUKE

S!」とピースコールを挙げ沿道に呼びかけながら被爆地広島まで行進します。主催者あいさつで大会実行委員長の高草木博共代表は「核兵器廃絶を求め65回目の国民平和進行がロシアのウクライナ侵略の中で開始される。日本にとっても世界にとっても重要な行進となる。侵略戦争やめよ、核兵器使わせない、国際法守れ、日本は核兵器禁止条約に参加せよとの声を全国と世界に届けよう」と呼びかけました。ロシアが2月24日に開始したウクライナ侵略は、他国への武力の行使を禁じた国連憲章違反です。また市民や子ども、

学校や病院への攻撃は、国際人道法違反です。平和と安全を守る方法は、圧倒的に国際社会と世界諸国民の世論と行動です。唯一の被爆国である日本からロシアの侵略に抗議し戦争の即時停止の声を上げることが求められます。連帯あいさつとして、被爆者団体の家島昌志代表理事は「日本政府に対して核保有国と非核保有国の橋渡しするといながら、何もしていない」と批判。政府の姿勢を変えさせようと呼びかけました。政府は、核兵器のない世界をめざすことが日本の責務だとしながら、他方では核兵器の脅威に対しては、

米国の核抑止力が不可欠だといっています。6月にはウィーンで核兵器禁止条約の会議が開かれます。核兵器禁止条約に署名・批准して核兵器のない世界の実現に

むけて行動していきましょう。6日(金)は江東区夢の島から日比谷公園まで、7日(土)は港区芝公園から神奈川県の県境六郷橋まで行進しました。【常任執行委員 江部 明子】

港荷役労使協定の期間満了が今年7月に迫るアメリカ西海岸の港湾情勢について、国際港湾倉庫労働者組合(ILWU)と経営側団体の太平洋海事協会(PMA)との交渉が5月12日に開始予定の所、2日前倒しで開催された現地メディアが報じた。賃金や福利厚生、荷役作業の自動化について争点となる他、国内の消費増加による記録的な輸送会社の利益増、そして感染リスクが伴う中で港湾労働者が休む事無く作業を行い医療品などの輸入を支えて来た事が交渉に大きく影響するとしている。ILWUは29の港で働く労働者1万5千人の組織。6年に1度協約の見直しが行われ過去2002年には、港湾事業のIT化と合理化について合意に至らず不調に終わリストライキを遂行。29港全てが11日間に渡って閉鎖され200隻以上の貨物船が待機状態となり世界中に影響が出た。米国では、港湾労働者やトラック運転手が不足しており、輸入の急増に対応しきれず昨年10月に待機コンテナ船が100隻を超える事態が発生。インフレや燃料費高騰等も交渉に影響すると見られる。

日本国憲法施行75周年 「改憲発議を許さない!」 5・3憲法大集会

施行から75年を迎えた憲法記念日の5月3日、戦争をさせない

・9条壊すな!総がかり行動実行委員会等が2019年以来となる憲法集会を江東区有明防災公園で開催しました。ロシアのウクライナ侵略を受け、今こそ憲法9条をいかそうと、プラカードを掲げた参加者1万5千人が集いました。

実行委員会の藤本泰成さんは「核共有」や「敵地攻撃能力の保有」を主張する改憲派を批判。上智大の中野晃一教授は「戦争を防



憲法をいかそう!守ろう平和といのちとくらし!



有明防災公園(東京臨海広域防災公園)で開催されました

ぐには抑止力と、先に攻めるつもりがないというメッセージが重要。9条をなくせば抑止力に頼るしかなくなり、無限の軍拡につながる。

9条を守ることが安全保障につながる。」と強調しました。集会後、デモ行進を行いました。【書記次長 笹原 和樹】

5月15日建交労東京学校第2回講座開催 次回は6月26日(日) 14時~17時

5月15日(日)、第7期となる建交労東京学校の第2回目の講座を東京地評ラパスホールを会場にオンライン併用で開催し、34名が参加しました。全4回シリーズで労働組合の基礎を学べる本講座は、東京学習協の江口健志さんを講師に4月に開校。第2回目は「職場闘争、産別闘争、政策制度闘争」がテーマでした。第3回は「組織拡大と政治変革」6月26日(日) 14時~東京



東京学習協 江口講師

組合掲示板

- 6月10日(金)~12日(日) 建交労フェスタ in 京都
- 6月26日(日) 14時~建交労東京学校第3回講座/ラパスホール(大塚駅)
- 7月31日(日) 14時~建交労東京学校第4回講座/ラパスホール(大塚駅)
- 8月27日(土)~28日(日) 建交労中央定期大会

